

5 人口集中地区(DID)人口及び面積

(単位: 人, Km², %)

年次	人口			面積			人口密度	
	総数	DID	割合	全体	DID	割合	全体	DID
昭和50年	38,820	7,515	19.4	79.62	1.2	1.5	487.6	6,262.5
昭和55年	40,435	8,104	20.0	79.62	1.5	1.9	507.8	5,402.7
昭和60年	41,715	9,534	22.9	79.62	1.9	2.4	523.9	5,017.9
平成2年	42,340	11,604	27.4	79.62	2.5	3.1	531.8	4,641.6
平成7年	42,683	12,670	29.7	79.68	2.7	3.4	535.7	4,675.3
平成12年	42,015	12,785	30.4	79.68	2.82	3.5	527.3	4,533.7
平成17年	66,536	12,821	19.3	123.52	2.82	2.3	538.7	4,546.5
平成22年	65,320	12,046	18.4	123.52	2.87	2.3	528.8	4,197.2
平成27年	61,483	10,655	17.3	123.64	2.87	2.3	497.3	3,712.5

資料: 国勢調査結果(総務省)

(注1)DID地区については、旧水海道市のみ

(注2)昭和50年から平成7年までについては、旧水海道市の値

(注3)平成17年以降は、常総市全体(旧水海道市と旧石下町の合計)の値

人口集中地区とは

○設定の経緯

国勢調査では、市部・郡部という単位は、それぞれ都市的地域・農漁村的地域を表すものとして慣用されていた。しかし、昭和28年の「町村合併促進法」及び昭和31年の「新市町村建設促進法」による町村合併や新市の創設などにより市部地域が拡大され、市部という地域表章が必ずしも都市的地域の特質を明瞭に示すものではなくなった。そこで、この都市的地域の特質を明らかにする統計上の地域単位として、昭和35年国勢調査から新たに人口集中地区を設定することとした。

○設定の基準

下記(1)、(2)を満たす地域

- (1) 市区町村の境域内で、原則として人口密度が1 km²当たり4,000人以上の基本単位等が互いに隣接していること。
- (2) 上記の地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有すること。

◎常総市では水海道地区の一部、豊岡地区の一部、大生地区の一部が人口集中区となっている。